

令和6年8月6日

報道関係 各位

田辺市消防本部
警防課長 松葉 和彦

消防救助東近畿地区指導会における梅干しの広報について

このことについて、令和6年7月26日に京都市で開催されました第52回消防救助東近畿地区指導会において、当本部が熱中症対策に取り入れている梅干しを広報してきましたので、報道方よろしくお願ひします。

当日の写真は、提供させていただきます。

【担当】

田辺市消防本部警防課 亀田（内線：66162）

TEL：0739-33-9069 FAX：0739-34-3134

E-mail：keibou@city.tanabe.lg.jp

消防救助東近畿地区指導会における梅干しの広報について

1 目的

私たち消防職員は、火災、救急、救助現場など過酷な環境下においても、市民の生命、身体、財産を守ることが使命です。

しかし、火災現場では防火衣、救急現場では感染防止衣などを着用し、長時間活動することから、消防職員に熱中症対策は必須です。

田辺市消防本部では、数年前から熱中症対策の一環として、「梅干し」を携帯し、活動中に塩分を補給しています。

同じ状況である全国の消防職員にも熱中症対策の一つのアイテムとして「梅干し」の効果を知っていただきたいとの思いで、広報させていただきました。

2 広報活動

昨年度に引き続き、京都市で開催された消防救助技術東近畿地区指導会において、田辺市消防本部職員と田辺市梅振興室職員が、紀州田辺うめ振興協議会から提供を受けた個包装タイプの種抜き梅干し 1,500 個を、大会出場者や来場者に配布しました。

配布の際には、田辺市消防本部では活動中にも熱中症対策のため梅干しを携帯していることやその効果を広報するとともに、田辺市が梅産地であることをPRしてきました。

大会出場者や来場者からは、「食べると体が楽になった。」、「酸っぱいイメージがあったが、すごく食べやすい。」など好評でした。

